



境 慎太郎さん  
Sakai Shintaro

〔上豊内区〕

さかい・しんたろう / 熊本中央高3年。陸上全国大会の競歩の部に出場し、2020年東京オリンピックの県特別強化指定選手にも選ばれた。

## 夢の東京オリンピックピックを 目指して歩き続ける

「練習の成果がすぐにレースに表れることが、競歩の一番の魅力」と語るのは、陸上競技・競歩で「2020東京オリンピック育成指定選手」に選ばれた境慎太郎競技者（熊本中央高3年）。

育成指定選手は、オリンピック出場の可能性のある県関係の将来有望な選手を集中的に育成・強化し、多くの出場者を生み出すことを目的として、県教育委員会が選出。境競技者は、6月に開催され

た全国高校対校選手権南九州地区予選に出場し、5000m競歩の部で、22分6秒99のタイムで優勝。今夏のインターハイに向けて、毎日練習に励んでいる。中学から長距離走に取り組んでいた境競技者。故障がきっかけで競歩を始めたのが高校1年生のとき。競歩は、左右どちらかの足が地面に接しているようにして、一定距

離の歩行の速さを競う種目。「競歩を始めた当初は、走る」ときは違う筋肉を使うので、すぐに足が痛くなった」と振り返るが、すぐに頭角を表して2年生でインターハイに出場。「このころから競歩でのオリンピック出場を意識し始めた」が、同大会では残念ながら予選落ち。悔しさを味わいながらも地道に練習を重ね、4月の全日本競歩大会では、出場した高校生で4位となるなど実力を伸ばし続けて、育成指定選手に選ばれる評価を得た。「選ばれたときはオリンピックに一步近づいたことができてとてもうれしかった。何よりも、家族を喜ばせることができてよかった」と笑顔を見せる。境競技者は「今年のインターハイでは、自己記録を更新し、20分台を出して優勝したい」と闘志を燃やす。6年後に迫る東京オリンピックに向けては、「今の一番の目標は、競歩選手として出場すること。そのために練習を今まで以上にがんばりたい」と将来の夢に向かって歩き続ける。

広報 こうさ

2014年（平成26年）8月号  
通巻541号